



読書の取組

- ① 読書タイム **NEW**
終わりの会前の10分間
- ② 読み聞かせ
 - ・ 地域ボランティア
 - ・ 教職員 ・ 図書委員会
- ③ 親子読書「本和家（ほんわか）タイム」
毎月末の週末、親子読書に取り組む
- ④ 「シオンくんの本わかタイム」
- ⑤ 多読賞（図書委員会）
每学期表彰
- ⑥ 学級図書の充実



子どもたちを本好き、読書好きにするために今年度は左のような取組を進めています。新たに取り組んでいるのが「読書タイム」です。終わりの会前に10分間実施しています。みんな静かに集中して本を読んでいます。わずか10分という短い時間ですが、これがきっかけとなり、「続きが読みたい。」「もっと他の本も読んでみよう。」と読書意欲が高まり、他の時間や家庭での読書に広がることを期待しています。

読書カードがいっぱいになると「読書の広場」にシールを貼ります。シールの数を見ても本を読むペースが速くなったことがよく分かります。



修学旅行 ～平和公園・厳島神社・大久野島～

平和公園、大久野島で平和を学び、瀬戸内の島々の美しさにふれ、世界遺産「厳島神社」の歴史と文化を学び、宮島の鹿と大久野島のうさぎと戯れた2日間。あっという間でしたが、真剣な学びあり、楽しい活動あり、初めての体験ありと、いろいろな意味で魅力のある充実した修学旅行ができました。



★戦争のおそろしさ、こわさを知り、もう、戦争はおこしてはいけないんだという気持ちになりました。
修学旅行で学んだことを生かして、人を差別したり いやがることをしないで、ケンカのない ほんとなにかのいい学級にしたいです。

☆姫路駅では、来る人来る人に「おはようございます」と元気にあいさつできました。残念ながらあいさつは返って来ませんでした。ある子が「これだから都会の人は…。」ともらっていました。

☆帰りのバスで寝ている友だちに制服を何回も掛け直すなど友だちを思いやる行動が多く見られました。
子どもたちの文集を読みました。多くが「今私たちにできることは…」と学んだことを自分たちの生活に生かそうとする態度に感心しました。

自然学校 ～飯ごう炊さん・磯観察・鉢伏山登山～

修学旅行に引き続き、今度は5年生が5月27日から4泊5日の自然学校を実施しました。2日目には例年より一週間以上も早い梅雨入り、最終日を除きすっきりしない天気でした。しかし、活動内容を大きく変更することなく予定通り実施できました。

最初はどうしても、自由な活動となると同じ学校同士で一緒にいたり、話をしたりすることが多いようでした。しかし、他校の児童と一緒に活動する中で、話さなければ伝わらないことや話し合わなければ決められないことを経験し、次第に積極的に



に他校の児童に働きかけ、友だちの輪が広がっていきました。

☆話をしっかり聞くこと、計画表を見ながら3分前行動ができました。その効果か、飯ごう炊さんでは、全ての班が時間内においしいご飯を炊くことができ、おいしいカレーをつくることができました。私もいただきましたがとてもおいしかったです。

☆5日間を通して、心身ともに元気で「頭が痛い」「お腹が痛い」と言う子がいませんでした。その証拠に鉢伏山登山では、元氣過ぎて昼食場所に予定よりずいぶん早く到着し、17時に昼弁当を食べました。

☆生活係の児童が、風呂の桶やかごをきちんと整頓し、忘れ物は本人に届けました。その他の係もそれぞれの仕事を責任を持ってやり遂げることができました。

幼稚園

～ ミニ運動会・3園交流会
6年生との給食・トライやる ～



6月の第1週、多くの行事があった1週間でした。兔塚小学校出身の2名の中学生がトライやるにやってきました。園児と一緒に活動したり、いろいろな行事においては、上手に補助をしてくれるなど大活躍でした。

火曜日は、村岡、兔塚、射添の3園の交流会が村岡幼稚園で行われました。小代認定子ども園での交流会に続き今年度2回目の交流会です。いつもと異なる環境で、緊張したり、気を遣ったりといつもと違う子どもたちの様子が見られました。緊張することも気を遣うことも貴重な体験です。



木曜日は、小学校の体育館でミニ運動会を開催しました。たくさんのお父さん、お母さん、またおじいちゃん、おばあちゃんに来ていただきました。子どもたちもはりきっていました。ありがとうございました。この日は6年生と一緒に給食を食べました。

あいさつ運動

準備で みんなに 元気よく



児童会が「あいさつ運動」に取り組んでいます。各学級から選ばれた当番が、毎朝校門でたすきを

掛けて登校してきたみんなに「おはようございます。」と呼びかけています。

昨年度の保護者アンケートでも、「声が小さい。」「地域ではあいさつができていない。」とあいさつの評価がよくありませんでした。そこで、登校中の地域でのあいさつを毎日、登校班毎に班長が自己評価しています。

家庭、地域で、子どもたちに声をかけていただき、あちらこちらで元気のよいあいさつが響きますようよろしくお願いします。



6月の行事予定

- | | |
|--------|----------------------|
| 14日(金) | 参観日 幼小
PTA心肺蘇生講習会 |
| 15日(土) | 1年学級PTA |
| 16日(日) | 2年学級PTA |
| 20日(木) | プール開き |
| 22日(土) | 6年学級PTA |



7月の行事予定

- | | |
|--------|------------------|
| 5日(金) | 地区別懇談会 |
| 16日(火) | 個別懇談会 (旧福岡校区) |
| 17日(水) | 個別懇談会 (旧日影・大谷校区) |
| 19日(金) | 第1学期終業式 |
| 20日(土) | 村岡区子ども会球技大 |

続・兔塚紀行

ハチ北スキー場と 三浦雄一郎さん

先日、80才でエベレスト登頂に成功された三浦雄一郎さんをご存じですね。兔塚と三浦雄一郎さんの関係はご存じですか。三浦雄一郎さんは、一時期兔塚にお住まいで息子さんは兔塚小学校に通っておられました。スキー場建設時にも視察にも来られ、「鉢伏山はスキー場になるために出来たような山だ」と言われたようです。その後も、三浦雄一郎スキー学校が作られ現在に続いています。

ハチ北スキー場の誕生 昭和43年 今から46年前。

昭和40年に開通した但馬トンネル。そのころの兔塚村は但馬の多くがそうであるように、雪深い冬、仕事はなく、男手は出稼ぎにいかなくては生活できない時代でした。

そのような時代に先人は冬でも働ける場、家族が離ればなれにならなくてもいい安定した生活を夢み、ハチ北スキー場の建設を決意しました。今のように機械化されているわけではなく、大笹の人たちが総出で重い機材を運び上げたお話を観光協会会長の西村吉男さんからお話を聞きました。先人の苦労を思い、兔塚の宝として大切にしたいものです。



左から5番目が雄一郎さん

(文責 三宅)